

第2回半田市・常滑市医療連携等協議会議事要旨録

日時：平成23年7月4日(月)

午後2時から午後3時

場所：半田病院第1・2会議室

事務局(半田病院事務局長) 本日は、お忙しい中お集まりをいただきましてありがとうございます。今日の進行役を努めさせていただきます半田病院事務局長榊原一人と申します。よろしくお願い申し上げます。

半田市・常滑市医療連携等協議会につきましては、愛知県の地域連携のための有識者会議並びに半田保健所長さんからのご助言をいただき、平成22年7月21日に設置をしたものでありますが、事務局の不手際により、以来開催することができませんでした。委員の皆様方には改めて深くお詫びを申し上げます。今後は協議会の目的を尊重し、所掌事項の推進に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

1. 半田市・常滑市医療連携等協議会設置に関する協定書の一部改正について

会議に先立ち、今後の確実な協議の推進を図るため、両病院を所管する半田保健所及び知多保健所の所長さんにも委員としてご参画いただきご助言をいただけるよう、協定の一部改正案が両市長より提出されておりますので、事務局から提案説明をさせていただきます。

平成22年7月21日付けで半田市と常滑市との間に締結した半田市・常滑市医療連携等協議会設置に関する協定の一部を変更する協定を次のとおり締結したいとするものです。

協議会の組織の構成を定めています第5条第1項中「8人」を「10人」に改め、同条第2項中「並びに両市の行政職員」を「、両市の行政職員並びに両病院が所在する地域を所管する保健所長」に改めたいとするものです。

併せて作業部会の構成を定めています第10条第2項中「半田市職員3人及び常滑市職員3人」を「半田市職員及び常滑市職員の内より、各々同数」に改めたいとするものです。

説明は以上ですが、本日付けで両市長より提出されました、この一部変更の協定の採択につきまして、ご異議はございませんでしょうか。

委員 異議なし

事務局(半田病院事務局長) ありがとうございます。それでは、開会に先立ち半田市・常滑市の両市長からご挨拶をいただきます。最初に、半田市長からお願いします。

2. 半田市長、常滑市長あいさつ

半田市長 大変暑い中、そしてご多忙の中、ご出席を賜りましてありがとうございます。昨年度から医療連携等協議会は設立されておりましたが、それぞれの考え方に若干相容れない部分などもあり、一定の成果はあったものの、具体化に向けた取り組みがやや遅れていた感もございました。常滑市さんも議会の方で新病院建設が公表され、現在、新しい消防署が建設中ですが、まもなく病院の建設も始まることかと思っています。先ほど、両保健所長さんにも委員に加わっていただき、いよいよ地域住民にとってより良い方向性、両市あるいは両病院にとって、WIN-WINの関係になっていけばと思っております。今後とも皆様方の積極的なご意見を受け賜りながら、地域の皆さんのためにより良い方向性を導き出してまいりたいと考えていますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

常滑市長 一年ぶりの開催となりますが、私どもの組織的な問題もあったかと思し訳なく思っています。今回新しく中山院長を筆頭に中村副院長そして久米看護部長と人心一新し、新たにこの会に参加しておりますが、半田市長から話がありましたように、常滑市は、平成27年

5月に新しい病院の開院を目指し取り組んでいます。市民の方から選ばれた新・常滑市民病院100人会議は、すでに5月、6月と月に1回2時間ずつ、医療関係者・行政関係者も加わり開催しています。自分たちの市民病院をどうしていくのか、どのような方向にもっていきたいのかを話し合っていきたいと思っています。新病院の建設に賛成という方ばかりではありませんが、常滑市の地域医療の現状をお話しながら、やはり常滑には病院が必要だという思いで、その方たちに常滑市民病院の応援団になっていただくことが願いです。また、基本構想策定委員会には、半田保健所長さん、知多保健所長さん、半田病院長さんにお越しいただき、名古屋大病院、藤田保健衛生大学の先生方も交えながら話し合いの場を設けています。一次医療、二次医療の常滑市民病院、三次医療の半田病院が上手く連携しながら、知多半島医療圏の中でそれぞれの役割をどう果たしていくかを考えていく必要があります。半田市・常滑市医療連携等協議会が地域のみなさんにとって、半田病院、常滑市民病院があつて良かったというような連携を進めていきたいと考えていますのでよろしくお願いします。

3. 開会

事務局(半田病院事務局長) それでは、改めまして、第2回半田市・常滑市医療連携等協議会を開催させていただきます。資料の次第に沿ってご説明させていただきます。

本日は、一年ぶりの会議で委員の異動もございますので、出席の皆様の自己紹介をここでお願いしたいと思います。知多保健所長さん、常滑市側の委員の方から順次お願いいたします。

委員および事務局の自己紹介

4. 議題

事務局(半田病院事務局長) ありがとうございます。それでは早速会議に入らせていただきます。会議の議長は、協定書の第8条の規定によりまして、会長が議長を努めることになっておりますので、会長である半田市長に議長をお願いいたします。

議長(半田市長) 規定に基づきまして、会議のとりまわしをさせていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、お手元に配付いたしております次第に記載の順に進めてまいります。議題(1)愛知県地域医療再生計画について説明をお願いします。

半田保健所長 資料については、まだ案の段階でありますのでご留意下さい。

(1)愛知県地域医療再生計画について(資料2)を説明。

議長(半田市長) ありがとうございます。議題の(1)愛知県地域医療再生計画について説明がありました。ただいまの説明内容にご質疑等がありましたらお願いいたします。

半田保健所長 保健所では、医療圏全体の会議を開催していますので、その会議の中でも計画についての進捗状況の報告をしてまいりますのでよろしくお願いします。

議長(半田市長) 議題(1)については以上とさせていただきます。続きまして(2)市立半田病院及び常滑市民病院の医療連携等の方針についてを議題とします。資料3と資料4について、あわせて事務局説明願います。

事務局(常滑市民病院事務局長)

(2)市立半田病院及び常滑市民病院の医療連携等の方針について

①半田市・常滑市医療連携等協議会作業部会報告(資料3)

②具体的連携方策等(資料4)について説明。

議長(半田市長) ありがとうございます。ただいまの説明内容にご質疑等がありましたらお願いいたします。

中根委員(半田病院長) 医師・看護師の確保については両病院にとっての課題であり、特に看

護師の確保が大変です。半田市と常滑市が母体となり、半田常滑看護専門学校を運営していますが、卒業生約40名のうち両病院に入職するのが6～7割程度であり、他の専門学校が100%近い数値であるのと比べるとやはり低いと言わざるを得ません。まず、看護専門学校からの入職者を確実に確保するよう両院協力して努力していきたいと考えています。

事務局（半田病院事務局長） 半田常滑看護専門学校の定員は、すべて半田病院または常滑市民病院に勤務する看護師として育成する、と目標を掲げて育成していくことも常滑市民病院の事務局と話をしています。別に連携等協議会の下部に組織を設けるか、既存の管理組合の事務局との連携を作業部会が図って進めるかの方法もありますが、いずれにしても内容を詰めていきたいと考えています。

議長（半田市長） 入学式や宣誓式であいさつさせていただいているので、看護専門学校の運営は、半田市民・常滑市民の血税で賄われていることをきちんと説明し、学生の皆さんに理解していただくよう努めていきたいと思います。

白井委員（半田病院看護局長） 看護専門学校は職業人の育成だけではなく、常滑市民病院と半田病院に9割の学生を供給していただくという教育方針を確認しながら、実習生を受け入れていきたいと考えています。また、現在、看護師確保のため知多半島の高校を訪問していますが、大学受験の際の指定校推薦の部分で、修学資金制度とリンクをさせながら、将来の看護師のたまごのたまごを確保していく方策を考えていきたいと思います。

議長（半田市長） 半田市、常滑市から看護専門学校に行かれる方については、修学資金の金額について優遇してもよいのではないかと個人的には考えています。管理組合と話をする機会があれば、そういうことも提案していきたいと思います。

中村委員（常滑市民病院副院長） 常勤医師がいないため診療科がなく、不自由をしていることを簡単に説明しましたが、呼吸器内科と整形外科が数年前から常勤医がいない状況です。呼吸器内科医の仕事量は内科医の中でもかなり大きかったのですが、その呼吸器内科医がいなくなったことで、一番市民の方に迷惑をおかけすることとなり、患者の方は遠くまで通っている現状です。今後半田病院との連携病床を考えた場合、呼吸器的な病気の方の管理が内科疾患の連携のメインになってくると思えます。肺などを専門に診られる常勤医がいないということは、気管支鏡のできる人もなく、連携していくうえでは、専門医が必ず1人いる体制が必須条件です。

議長（半田市長） 両市長あるいは両院長先生を含め、そういった声を県や大学医局などへ強く訴えていきたいと思います。

いろいろいただきましたご意見を踏まえ、作業部会で鋭意検討、推進をしていただきますが、私どもも取り組んでまいりますのでよろしくお願いをいたします。

次に（3）その他について事務局の説明をお願いします。

事務局（半田病院事務局長、常滑市民病院事務局長）

（3）その他

①平成22年度決算見込み（資料5）

②職員の状況（資料6）について説明。

議長（半田市長） ただいまの説明内容についてご質疑がありましたらお願いします。

常滑市長 決算見込みで、半田病院は21年度に比べ材料費が減っていて、常滑は増えているとの説明でしたが、資料3の2（3）の中では、常滑市民病院はさらなる経費削減の必要があるから半田病院と同一歩調がとれなくなったと記述されていますが、逆に半田病院の方が経費の削減に努めたということでしょうか。

事務局（半田病院事務局長） 診療材料の価格交渉の手法を一昨年度経営改善の柱を模索しているときに常滑市民病院から紹介いただき、同一の業者と話を始めましたが、材料の取扱量の差がかなりあり、半田はスケールメリットがありますが、常滑は期待する効果が得られないとい

うことから、同一の手法をとることができなくなったというものです。

議長（半田市長） 他にございませんか。

無いようですので以上とさせていただきます。それぞれの病院の情報交換を密に進めるのみならず、今後とも協議会の場へわかりやすく資料として示していただくことを要望します。本
日予定しておりました協議事項は以上でございますが、せつかくの機会でありますので何かあ
りましたらお願いします。

中根委員（半田病院長） 常滑市民病院さんで新たに認定看護師が誕生したとのことですが、病
院としても利点を認められておられるのでしょうか。

久米委員（常滑市民病院看護部長） がん性疼痛と皮膚排泄ケアとがん化学療法の3人です。以
前から外観が古いため、教育には力を入れ、なるべく認定教育に出すようにしてきました。現
在認定看護師は7人です。

澁谷委員（半田保健所長） 常滑市民病院さんから地域の開業医の先生へあるいは、地域の別の
病院へというクリニカルパスなどの予定はありませんか。

久米委員（常滑市民病院看護部長） 特にありません。

議長（半田市長） スムーズに議事を進めることができ、ありがとうございました。以上をもちま
して、半田市・常滑市医療連携等協議会を終了させていただきます。

以上(午後3時終了)